

会 議 録

1 会議名

令和6年度第3回保倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的な審議】

- ・地域の活性化につながる取組について（公開）

【報告事項】

- ・地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて（公開）

3 開催日時

令和6年7月22日（月）午後6時00分から午後7時25分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 神村大輔（会長）、白田 修（副会長）、青木重一、秋山廣明、梅澤 博、佐藤 司、高島和栄、中島 功、藤田一彦、巻内 勉、八木 隆、渡邊 巧（欠席者なし）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【神村会長】

- ・挨拶

・会議録の確認：白田副会長、高島委員に依頼

議題【自主的な審議】地域の活性化につながる取組について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・参考資料「地域独自の予算事業を活用した取組案について」に基づき説明

【神村会長】

現在、保倉まちづくり振興会では地域独自の予算事業を活用して「保倉地区環境美化事業」を運営し、町内会で花苗を植栽している。保倉まちづくり振興会が自己資金分を支出しているが、来年度は花苗の本数を見直し、今までよりは経費を抑えられる予定である。地域独自の予算事業の新規取組の補助率は10分の7であるが、3割の自己資金は捻出できると考えている。

どんな事業をやるのかということが大事だと思う。なんとか一つぐらいはやらなければいけないような感じもするが、前回、無理してやらなくてもいいのではないかという意見もあったので、今日はざくばらんに皆さんから意見をお聞きしたい。

渡邊委員から一人ずつ意見をお願いしたい。

【渡邊委員】

例えば、以前は地区の運動会をやって、リレーだから何人必要、老人会で行事をやるから何人出せというように、縛られてしまうとなかなか歩出ない。

新しい行事は何人集まるかというのは未知数であって、もしかしたら数人しか来なくて、寂しい結果になるかもしれないが、それでもこの17町内には協力的な方もいらっしゃると思う。今、案はないが、やはりみんなで顔を合わせる機会の一つぐらい考えたほうがいいのではないか。

【八木委員】

今までの地域協議会で案はたくさん出たと思うが、実行に移されるものは非常に少ない。そこで、誰もが知っている盆踊りをやれば、17町内もあるので、各町内から四、五人ずつ集めれば六、七十名くらい集まるのではないか。強制ではないが、高齢者は一番懐かしいと感じるのではないか。

【巻内委員】

昔は、私の町内でも、子どもたちを集めてバーベキューをやったり、金魚すくい等をやったりして楽しんでいましたが、残念なことに子どもがほぼゼロに近い状態になっていて、かなり前からそういうことは一切やらなくなっているのが現状である。私自身はピンと

きていないが、何かいいアイデアがあれば、その都度参考にしてやっていきたいと思う。

【藤田委員】

行事の主な参加者対象は大人なのか、子どもにしたほうがいいのか。

私の考えでは、夏休みを利用して、子どもたちを対象に肝試しのようなものを作ってはどうかと思う。子どもが来れば、自然に大人もやって来る。

今、「蓮のまち地区」というのは下吉野と上吉野と一体で活動している。ここ3年程、市の2月のイベント「灯の回廊」に合わせて、国道253号線沿いに100個ぐらい、あと保倉地区公民館駐車場にも100個ぐらい、東頸城の人たちの真似をして雪灯籠を設置している。写真を撮ってあるが、すごく綺麗である。保倉の町内でも公民館の周りに雪灯籠を作れば盛り上がるのではないかと。子供たちもみんな作ってくれると思うし、大人も向かえば熱中して面白いと思う。これも、各町内の行事とするのはどうかと思っている。

【中島委員】

前日も申ししたが、環境整備、さらに環境美化ということで、1つ目に花壇の充実を提案したい。これは私の町内会では非常に参加率が高い。それと、年代が広く集まる。私たちが花植えをやると、お孫さん、お父さん、お母さん、おばあちゃん、三世代6人が来られる。保倉地区内で皆さんが水平転換すれば、保倉のイメージアップにいいのではないかと。

2つ目に歩道の草刈りである。現在、無償で貢献する人がいるから、いろいろな集落からウォーキングしたり、散歩したりできている。だから、これを多少応援してもいいのではないかと思う。

3つ目はレクリエーションについてで、ウォーキングを提案する。健脚コースと初心者コースを設定する。リサイクルパークは公園になっていて、道路状況もよくお勧めしたい。コース沿いの集落センターを全部開放して、休憩とトイレで使うことも提案したい。

【高島委員】

今、皆さんの意見をいろいろ聞かせていただいたが、私の町内会は保倉で一番軒数が少なく、人口も一番少ない。小学生、中学生もいない。町内で何かするといっても、年寄りばかりで一軒から一人も出られないような家ばかりである。私としては、綱引き等の簡単な体を動かすようなことをやったらいいのではないかと思う。

【佐藤委員】

地域全体で何かをやるという前提だと、地域のお宝めぐり、保倉にこういうこと、こういうものがあるという、ちょっとしたことだが、地域を知るということをやってみたらいいのではないかと思う。私は保倉の一番東の端なので、西の端、南部もわからない。西部の方は、東のことがわからないと思う。

【梅澤委員】

先日、春日新田の方とお会いすることがあった。春日新田地区でバレーボールがあったようで、相当な人数が集まったそうである。有田なのか春日新田地区なのか、詳しく聞かなかったが、非常に人数が集まって楽しかった、チームが多いので一日がかりで、くたくたに疲れたと話していた。保倉区は人数が減っていく、子供もいない高齢化地区なので、バレーボールも難しいのだろうと思う。人数がそろわなくてやめようという話なので、スポーツイベントを行うとなると非常に難しいと思う。子供がいっぱいいて、学校を増やすような地域は、本当にいいなあと思いながら話をしていた。

特別これといったものはない。

今年は、100kmマラソンでかなりご苦労されると思うので、100kmマラソンのない間の年に、何か一つやるぐらいしか思いつかない。

【秋山委員】

保倉全体で取り組めるようなものというのと、先ほど中島委員から話があったとおり、「保倉ウォーキングの集い」というような名前で、年に1回ぐらい、涼しい時期に、皆さんでいろいろな話をしながら、ゆっくり歩いてもらい、また、その町内、町内の神社やお寺、歴史的な建造物等を見ながら歩いていければ、保倉全体の集いになるのではないかと思う。

【青木委員】

私のところでは、もう20年ぐらいハクチョウのエサのために、マコモを採集して植える活動を小学校4年生とやっている。我々も大分年を取ってきているが、小学校と連携し5名でこのようなことをやってきた。せっかく保倉区にハクチョウが来ているから、それを利用したらよいのではないかと思う。

【白田副会長】

何がいいのかと考えたときに、外を見ていたら、ただ黙々と一人で歩いている人が多い。黙々と一人で歩くのもいいのだろうが、ウォーキング大会とまで言わなくても、コースを設定して、若い人も年寄りも、みんな一緒になって歩いてみてはどうか。競争で

はなくて、自分のペースで歩く。先ほどもどなたかおっしゃっていたが、同じ保倉地区だが、他の町内会のことを全然知らない。小学校の頃は、友だち同士で違う集落へ行ったものだが、大人になればなるほどほかの地区がわからないというようなどころもあるので、例えば、それぞれ町内会の神社を巡る、西部、南部といった地区に分けて、その地区をコースにして歩いてみる。ほかの地区の人が「こんなところもあるのか」というふうに思えたら、いいのではないか。

【神村会長】

去年から保倉小学校のPTAの方々が、子供まつりを再開された。小学校が文化祭を午前中に実施し、終了後にPTAの方々がこの公民館、体育館を使って子供のためのお祭りイベントをやっている。そこに食生活改善推進員の方々が、公民館の炊事場を使いながら、てまり寿司や、ちょっとしたおやつを作って子供たちに提供している。PTAがいろいろなゲーム等を企画して、体育館でやっている。今年も2年目ということで10月26日の午後から行われる。食生活改善推進員が関わっているということは、例えば、まちづくり振興会の文化部あたりを中心に、PTAに協力する形で、保倉地区全体の事業として、地域の人にも「見に来てください」「子供たちと一緒に遊んでみませんか」というような誘いができるのではないかと、去年から思っている。運動会するときもそうだったが、PTAが自分たちだけでやるということであれば、こちらの誘いは却下されると思うので、少し探してみたいと思っている。

私の町内では、今年から子供夏祭りをやろうということで、保護者から申し出があり、老人会に支援しているのであるから、子供会活動も復活するのであれば、支援しようということになった。こういう若い人たちの動きを、後押ししたい考えが一番目にある。

最近、いろいろな地域でいろいろなイベントをやっているのが新聞に出ている。では保倉では何やったらいいのか。桑取は、先日ニジマスのかみ取りをやったと新聞に出ていた。あのような綺麗な川があればそれもできるが、保倉にはないと思った。しかし、よく考えてみると、ここにいらっしゃる皆さんも、ザリガニ釣りであればみんなしたことがある。外来種の駆除というような目的を一つ持ちながら、ザリガニ釣りをイベントとしてやれば盛り上がるかもしれない。

最後に、今、皆さんからのご意見を聞いた中で、やはり一番手軽で健康づくりの視点からウォーキングイベントの実施が現実的かと思う。この公民館の前から上青野の池まで何kmあるか、車で走ってみたら3kmくらい。駒木の剣神社あたりで3kmくらい。

田んぼの中を歩いて行けば、3 kmないかもしれない。歩ける距離だと思う。

我々が子供の頃は、自転車で乗って行っていたが、割と知らない。保倉地区内を調べてみれば、お宝と呼べるかもわからないが、石碑もあるし、お寺については住職に5分から10分程度歴史のお話を聞かせてもらうこともできるのではないかな。秋の遠足として「ウォーキングイベント」を企画してもいいのではないかなと思う。

【渡邊委員】

歩いてポイントを探しながら巡るオリエンテーリングもある。コースをただ歩いてもどこが面白いかなという声もあるかもしれない。会長が言われたように、どこかの寺や神社の説法も一つだと思う。オリエンテーリングはおそらく準備するには大変なことだが、先ほど言った100 kmマラソンの1年おきの間に準備していければ、それも不可能ではないのではないかな。

【梅澤委員】

保倉は空気がよく、景色もよい。雨が降ったらできないが、いい空気を吸いながらその辺を歩くというのはいいことだと思う。

【神村会長】

平地であれば、子供やお年寄りであっても、ここをスタートにして、片道1時間歩けば目的地には着くだろう。目的地に着いて、休憩しながら、飲み物を飲んだり、おやつを食べたり、そこで何かお話が聞ければ、お話を聞いたりして、行く道と帰る道で別の道を通れば、歩きながら、「こんなところあるんだね。ここは中青野っていう町内だね。立派な神社があるね。ちょっと中を覗いて行こうか。」というぐらいにして歩いたりしていけば、大体3時間で半日。お昼前に終わらせられるというのがもくろみである。

雨が降ったら、せっかく参加者はスケジュールを空けて集まっているので、子供たちが楽しみにしているのであれば、体育館で軽い運動のようなことができればとイメージしている。近所の普段あまり話さない人や、懐かしい同級生の方とお会いした年配の方が、おしゃべりする時間になってもいいだろうと思う。

例えば、このウォーキングイベントを保倉まちづくり振興会体育部会が実施主体となって来年やるとすると、100 kmマラソンのない年ならば協力できる。そこが主になりながら、町内会長連絡協議会も協力していきたい。町内会長協議会で案内を作ったり、参加者を募ったり、コース設定をしたり、諸々の準備を担えば、それほど負担がかからない。第1回、どれぐらいの人数が集まるか全く見当がつかないが、50人や60人は

参加するのではないか。それで企画していくことでよいか。

(委員同意)

では、来年の令和7年10月の3連休あたりで、半日で終わるといようなことでウォーキングイベントの企画書を作り、令和7年度の地域独自の予算事業に新規事業にチャレンジするというようお願いしたい。

とにかく一歩踏み出してみないと、どれぐらいの反応があるかというのもわからない。コースはやはり考えなければいけない。細かいことは、次回にする。

今日の独自予算に関する話については、また無理やり皆さん一人一人に意見を聞いてしまい申し訳なかった。地域独自の予算事業については、ネーミングも含めて役員で考えさせていただきたい。「空気のいい保倉を歩こう」等、そんな形で考えてみたいと思う。

地域自治推進プロジェクトの概要について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・別紙1「地域自治推進プロジェクトの概要」

別紙2(案)「地域自治の理想的な姿及び取組の方向性(全体図)」に基づき説明

【神村会長】

質問、意見を求めるがなし。

私から一つ質問する。

アンケートを取るのはいいが、アンケート結果をどのように生かそうと思ってアンケートをされるのか。今たたき台を示されたが、アンケート結果は、どのような生かし方を想定されているのか。

【佐藤所長】

別紙2(案)の「方策」部分に、皆さんのアンケートを反映させていただく。皆さんの思い、率直なご意見を聞かせていただきたい。

【丸山主任】

・「地域自治の理想的な姿等に係るアンケート」について説明

【神村会長】

約1か月あるので、忘れないうちに聞いた話を基にして、思いつくところで、率直な意見をご回答いただききたい。

【丸山主任】

第4回の協議会を、8月下旬から9月中に開催できればと思っているが、皆さんのご

都合はいかがか。

今回は、委員間のフリーディスカッションのようなことをやりたいと考えている。また、皆さんからこの協議会の場で、話題にしていきたいこと等を少し出していただいて、自主的審議事項として保倉区を活性化するテーマ探しのようなことにつなげていければと思っている。

【神村会長】

今日、いろいろなアイデアを出していただく中で、来年歩こう会をやってみるという話になったが、せっかく出していただいた冬のキャンドルロードの話や、ハクチョウのマコモの話、環境美化の話等、様々なことがあり、それも大事に温めながら進んでいきたいと思う。

・次回協議会：9月10日（火）午後6時から

ほかに意見はあるか。

【神村会長】

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。